

第72回岐阜大学経営協議会 議事要旨

- 1 日時 平成27年6月29日(月) 13時00分～15時15分
- 2 場所 岐阜大学本部大会議室
- 3 出席者 森脇(議長), 伊藤, 稲垣, 碓井, 岡本, 小川, 佐々木, 細江, 村瀬, 山内, 杉戸, 江馬, 福士, 鈴木, 横山, 小倉, 林, 王の各委員
オブザーバー:
池谷教育学部長, 竹内地域科学部長, 清島医学系研究科長, 六郷工学部長, 福井応用生物科学部長, 吉田監事, 山田監事

開会に先立ち, 議長から, 名簿に基づき新任委員の紹介があり, 当該者から挨拶があった。

4 議事要旨の確認について

第71回の経営協議会議事要旨(案)を原案どおり確認した。

5 審議事項

(1) 第3期中期目標・中期計画(素案)について

杉戸委員から, 資料1に基づき, 文部科学省に提出する「中期目標・中期計画(素案)」について説明があり, 審議の結果, 了承され, 6月29日開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○:質問・意見 ●:回答)

- 国際化に向けた取組を行う上で, 英語による授業をどのように考えるのか。また, 外部に向けて発信する際に, 評価されやすいよう対外的に示す必要があるのではないか。
- 留学生を受け入れるにあたり, 応用生物科学研究科では秋季入学を導入している。また, 地域科学部では, 国際教養コースの設置に向けて, 日本人学生を交えての英語によるカリキュラムを検討している。加えて, 理系大学院(修士課程)の改組において, 英語によるグローバルコースの開講を検討している。
また, 留学生の受け入れを整備する一方で, 日本人学生が卒業時にグローバルな視点に立った職業人となるよう育成することを検討している。
- 岐阜大学の将来ビジョンについて, 次世代生命科学分野の研究を推進する上で, 総合研究所や企業の誘致を検討してはどうか。
- 医・薬・獣連携による研究を岐阜大学の特徴と位置づけて取り組んでいきたい。その後, 企業誘致について検討したい。
- 国際化について, 産業分野への国際化として, JETRO との連携をすすめてはどうか。
- 将来的に, JETRO との連携についても検討したい。現在は, JICA に関連した活動に取り組んでいる。

- 国際化・教育・社会貢献に関連して、国際化に向けた取組をするためには学生の英語力が問われることから、社会貢献を兼ねて、小中学校の英語教育に教育学部が関与してはどうか。
- 現在の取組として、岐阜県教育委員会と連携して、教員免許にかかる認定講習に協力しているほか、岐阜市が開催するセミナーにおいて、英語科の学生をボランティアとして参加させている。
- 国際サロンの設置を検討してはどうか。
- 現在、学生、留学生、教職員、事務職員など学内のすべての方を対象とした English Lounge の活動に取り組んでいる。また、今後、アカデミックコモンズを活用した取組を検討したい。

(2) 平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

杉戸委員から、資料2に基づき、国立大学法人評価委員会に提出する「平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)」について説明があり、審議の結果、了承され、6月29日開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○：質問・意見 ●：回答)

- 学長記者会見の取組により、大学の情報発信は増えたものの、一般人からは大学の取組が不明である旨の声が寄せられているため、より一層の情報発信が必要であると思われる。
- より一層の情報発信を展開していきたい。
- 教員養成系分野や人文社会科学系分野における組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換については、社会の関心が高くなってきている。岐阜大学はどのような考えをもっているか。
- 理系のイノベーション人材を育成するためには、人文社会科学系分野も不可欠であると考えている。また、学問の継承の観点から、人文社会科学系分野の教育を維持したいと考えており、組織の廃止や再編成は考えていない。

(3) 平成26事業年度財務諸表(案)等について

横山委員から、資料3に基づき、文部科学省等に提出する平成26事業年度財務諸表(案)について、貸借対照表及び損益計算書の概要、決算報告書の概要の説明があり、審議の結果、了承され、6月29日開催の役員会に附議することとされた。

主な意見等は次のとおり。(○：質問・意見 ●：回答)

- 人件費が増額になっているが、大学の自助努力により予算を確保しているのか。
- 人事院勧告に基づいている。なお、今後、外部資金や運営費交付金を効果的に獲得していきたい。

(4) 平成28年度概算要求事項(案)について

横山委員から、資料4に基づき、平成28年度国立大学法人運営費交付金の

重点支援の概要を踏まえ、岐阜大学の将来ビジョンや戦略をもとに、概算要求（素案）について説明があった。次いで、資料5に基づき、施設整備費概算要求事項（案）について説明があり、審議の結果、了承され、6月29日開催の役員会に附議することとされた。

(5) 岐阜大学運営組織規則の一部改正について

横山委員から、資料6に基づき、公正研究推進室の室長を学長が指名する理事とすること等に伴い、国立大学法人岐阜大学運営組織規則を一部改正する旨の説明があり、審議の結果、了承され、6月29日開催の役員会に附議することとされた。

6 報告事項

(1) 大学改革に向けた取組状況について

杉戸委員から、資料7に基づき、大学改革に向けた取組状況について、共同利用・共同研究拠点への認定申請として、流域圏科学研究センターを流域圏科学研究拠点としての認定を申請した旨の報告があった。次いで、公募事業への応募状況について、応募済みの事業として、(1) テニユアトラック普及・定着事業（先進的取組活用促進プログラム）、(2) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）、応募予定の事業として、(1) 地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）についての報告があった。

(2) 平成27年度入学者選抜結果について

江馬委員から、資料8に基づき、平成27年度入学者選抜結果及び秋季における平成26年度大学院入学者選抜結果について報告があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

○ 秋季入学の方向性として、学部等へ拡大していくのか。

● 当面は、工学研究科、応用生物科学研究科、連合農学研究科、連合獣医学研究科及び連合創薬医療情報研究科とし、留学生の受け入れ人数を増やすことを想定している。

○ 医学部では、3年次編入学は行っていないのか。

● 医学部医学科は、カリキュラムの構成上、3年次編入学は行っていない。

なお、医学部看護学科は、3年次編入学を行っている。

(3) 平成26年度卒業・修了者の就職状況等について

江馬委員から、資料9に基づき、平成26年度卒業生及び修了者の求人・求職・就職状況について報告があった。

○ 就職活動について、ガイダンスや就職支援はどのような状況か。

● 大学全体の取組として、毎週講習会を開催している。また、各学部においても、就職支援活動を実施している。

○ 卒業生・修了者のうち就職しない学生は、どのような状況か。

● 大学院への進学や留学生が母国へ帰国している。また、教育学研究科の

場合、現職教員が修了者数に含まれている。

(4) アカデミックコモンズのオープンについて

江馬委員から、資料10に基づき、アカデミック・コア、アクティブ・ラーニング教室及びメディア・コモンズから構成されるアカデミックコモンズを整備した旨の報告があった。

(5) 岐阜大学COC事業の進捗状況について

福士委員から、資料11に基づき、平成25年度に採択された「ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」の取組の進捗状況について報告があった。次いで、「岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成」と題して、地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）へ応募する旨の報告があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

○ 岐阜市の観光事業に関連して、岐阜城へのアクセス問題等をCOC事業で取り上げることが可能か。

● 岐阜市の課題として、COC事業で展開することも検討したい。

(6) 科学研究費の内定状況について

福士委員から、資料12に基づき、平成27年度科学研究費助成事業の内定状況について報告があった。次いで、平成26年度の新規採択及び継続分の採択件数等について、国立大学における本学の順位の報告があった。

(7) 平成27年度ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の申請報告及び岐阜大学女性研究者在職比率数値目標について

林委員から、資料13に基づき、女性教員や女子学生の比率について報告があった後、国・公・私立大学及び民間企業の4機関が連携した地域循環型研究者育成プログラムを申請した旨の報告があった。

主な意見等は次のとおり。（○：質問・意見 ●：回答）

○ アピ株式会社は、どのように関与しているのか

● ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）の申請条件として、2020年度までの女性研究者の数値目標・行動計画を掲げられる民間企業を連携機関に構成することとなっており、アピ株式会社が対応可能な企業として参加いただいている。

○ 岐阜新聞において、「女子ネット」という組織を立ち上げているが、コラボレーションすることは可能か。

● 採択の可否に関わらず、コラボレーションしていきたい。

(8) 産官学の連携状況（平成26年度実績）について

王委員から、資料14に基づき、産官学の連携状況について報告があった。

(9) 国立大学振興議員連盟第1回総会について

議長から、資料15に基づき、国立大学振興議員連盟第1回総会について報告があった。

(10) 創立記念日行事(6/1)について

議長から、資料16に基づき、6月1日(月)に実施した創立記念日行事について、実施内容の報告があった。

7 その他

(1) 医学部附属病院の経営状況について

小倉委員から、資料17に基づき、医学部附属病院の平成26年度経営目標達成率について報告があり、損益計算書及び収支計算書について報告があった。

8 次回の開催日

次回の開催は10月を予定している旨の説明があった。